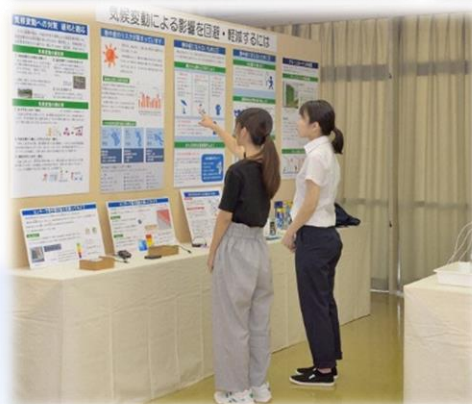
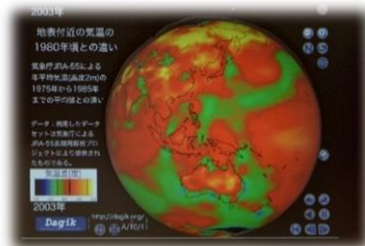


富山県気候変動適応センター

Newsletter

ニュースレター

第3号



かんきょうがくしゅうしつ

環境楽習室 エコ・ラボとやま オープン！

富山県環境科学センターでは、これまで一般公開や夏休み子ども科学研究室、施設見学を通じて環境教育の推進に取り組んできましたが、このたび施設の一部を改装し、環境教育の拠点となる施設として「環境楽習室 エコ・ラボとやま」を令和2年10月1日にオープンしました。

「環境楽習室 エコ・ラボとやま」では、気候変動の影響や適応についてもパネルや展示物でわかりやすく紹介しています。

誰でも気軽に訪れることができるよう平日は常時開館としていますので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

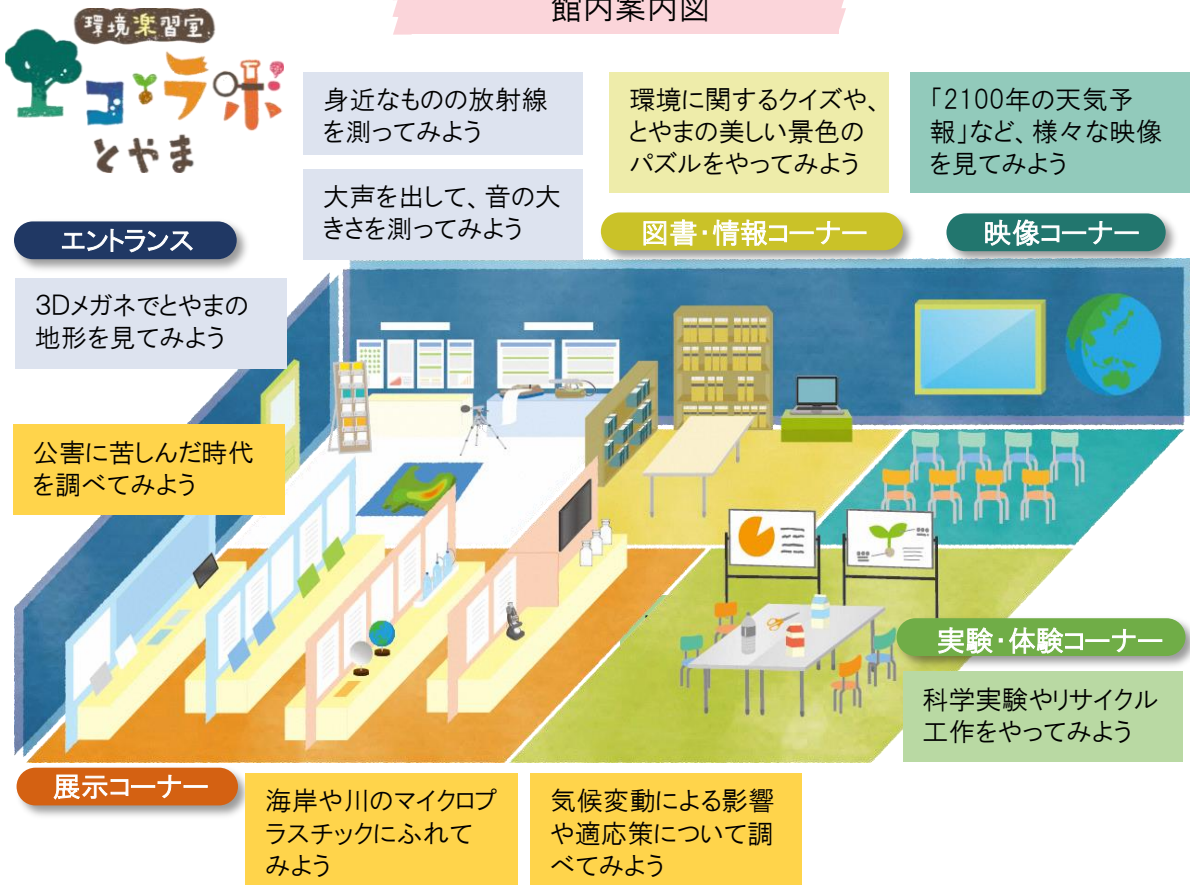
環境楽習室 エコ・ラボとやまの紹介

「環境楽習室 エコ・ラボとやま」は、身近な環境から地球規模の環境まで、パネル展示や実験・体験コーナー、映像コーナーなどを通じて“見て”“ふれて”“学ぶ”施設です。

富山県が公害に苦しんだ時代から現在までの環境問題の歴史のほか、大気や水質、海岸漂着物に関する展示、科学実験やリサイクル工作、機器を使った騒音や放射線の測定など、楽しく環境について学べる施設となっています。

気候変動の影響や適応策のコーナーでは、温暖化のメカニズム、世界や日本で現れている影響、将来の富山の気候、熱中症対策についてパネルでの紹介のほか、暑さをしのぐ便利グッズなどを展示しています。

館内案内図



エコ・ラボとやまイメージキャラクター



めぐみ



はぐみ

🕒 9:00～16:30

🆓 無料

🏠 休館: 土・日・祝日・年末年始

※団体(10名以上)の場合は、事前に申し込みをお願いします。

第1回富山県気候変動適応研究会を開催しました

富山県気候変動適応センターでは、気候変動の影響や適応について、有識者や関係機関と情報を共有し、調査研究の推進や協力体制を構築するため「富山県気候変動適応研究会」を設置しました。

令和2年9月1日に開催した第1回研究会では、国立環境研究所気候変動適応センターの脇岡副センター長から、「気候変動適応推進に向けた最近の取組み」と題して気候変動の現状、将来予測される影響及び適応の重要性などについてご講演いただきました。



第1回研究会

【講演の要旨】

- 気候変動による影響の顕在化
 - ・ 統計開始(1891年)以降、世界全体で暑かった年のTOP 6 は2014～2019年の6年
 - ・ 平成30年7月の記録的猛暑は温暖化がなければ起こりえなかった
- 将来の悪影響が懸念
 - 温暖化対策をほぼ実施しなかった場合、富山県において、21世紀末では現在と比べて、
 - ・ 年降水量及び滝のように降る雨（1時間降水量50mm以上）の日数が増加傾向
 - ・ 海面上昇により砂浜がほぼ消失
- 温暖化対策は、「緩和策」と「適応策」の双方が不可欠
- 気候変動を想定した行動が求められる時代：将来影響を考慮して対策コストを抑制

CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLATFORM

富山県における将来の熱中症搬送者数予測 (MIROC5)

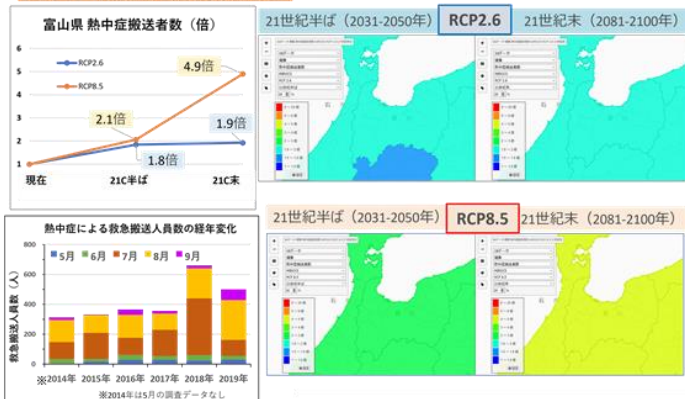


(脇岡副センター長の講演資料より)

RCP2.6 (厳しく温暖化対策を実施)

(基準期間1981-2000年との比)

RCP8.5 (ほぼ温暖化対策を実施せず)



- 気候変動の観測・予測データの一例として「富山県における将来の熱中症搬送者数予測」について紹介
 - 温暖化対策をほぼ実施しなかった場合、21世紀末では現在と比べて熱中症搬送者数が4.9倍に増加する
- 気候変動適応情報プラットフォーム (A-PLAT)のウェブサイトでは、「将来予測、影響評価に関する研究成果」として、気候、農業、自然生態系などの観測・予測データが掲載

また県内の大学の研究者から、現在取り組まれている研究として、日本海の水蒸気量の変化が降雪に与える影響、立山の高山帯をフィールドとした雪解けと植生分布の関係、降水変動と地下水の関連や海外の気候変動適応の支援、河川洪水や波浪についての将来予測といった気候変動に関する様々な研究についてご紹介いただきました。

環境科学センターの一般公開を行いました

令和2年10月3日（土）に環境科学センターの一般公開を行い、家族連れなど90名の方に「環境学習室 エコ・ラボとやま」・「富山県気候変動適応センター」の見学や、環境に関する科学実験として水質の簡易測定などを体験していただきました。

気候変動については、デジタル四次元地球儀（ダジックアース）で過去から現在までの気温の変化や、日本に来る台風の動きなどを地球儀に投影した映像を紹介するとともに、気候や動植物の変化など富山県内に既に現れている温暖化の影響について解説しました。

今後も、県民の皆さまが「環境」に関心を持ち、環境にやさしいライフスタイルを実践していただけるように、幅広い環境問題や研究成果をわかりやすく情報発信していきます。



環境学習室 エコ・ラボとやま



富山県気候変動適応センター

環境科学センターの研究成果発表会を行います

今回は、気候変動に関する研究推進の観点から、国立環境研究所地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室の塩竈室長に「近年の異常気象と地球温暖化」と題して基調講演いただくほか、「立山の融雪モニタリングによる気候変動の影響の評価」など環境科学センターの研究成果発表を行います。（成果発表2件、ポスターセッション4件）

参加を希望される方は、事前に申し込みをお願いします。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

日 時：令和2年11月16日（月）午後1時30分から4時まで

場 所：富山県民会館304号室（富山市新総曲輪4番18号）

申込方法：名前、連絡先を明記し、当センターウェブサイト又はファクシミリで申込みできます

U R L： http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1730/index.html

Newsletter ニュースレター 第3号

発行 富山県気候変動適応センター（富山県環境科学センター内）
Toyama Prefectural Climate Change Adaptation Center(TCCAC)

〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1

TEL:0766-56-2835 / FAX:0766-56-1416

URL:http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1730/kj00021662.html